

2025 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|--|---|---|---------|---------------|---|----------------|
| 学 科 | 視能訓練士学科 | | 科 目 区 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | 講義演習 |
| 科 目 名 | 解剖生理学 I | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (2) |
| 対 象 学 年 | 1年 | | 学 期 | 前期 火曜2限 | 教室名 | 703教室・4階基礎医学教室 |
| 担 当 教 員 | 保地 譲 | | | | | |
| 実務経験と その関連資格 | 臨床検査技師として大阪市独立行政病院機構(大阪市立総合医療センター、旧小児保健センタ、北市民病院)に臨床検査技師として35年間勤務。主業務は病理検査(解剖含む)、血液検査、一般検査、緊急検査分野ならびに技師の教育に携わっていた。現在、大阪細胞病理研究所に非常勤勤務。資格:国際細胞検査士、二級甲類臨床病理技術(血液)所持。日本臨床検査学会会員、日本臨床細胞学会会員。 | | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染予防及び眼科領域の医学知識を理解するのに必要な、全身の構造と働きを系統立てて学ぶ。 ・具体的に、骨格・運動器系、脳・脊髄神経系の構造(解剖学的)、機能(生理)を理解するとともに人体構成するうえでの関連性も学習する。A1・講義ごとにグループ討議の問題を提示し、グループ員の知識で正解を導き出させる。そして、チーム意識を高めさせる。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容の研鑽もかねて、課題テーマに対するレポート評価30%及び授業態度含む平素評価20%の計50% ・終講試験は、選択試験を行う。その評価点40% ・班として、学習研鑽評価10% | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・予定:ぜんぶわかる人体解剖図—系統別・部位別にわかりやすくビジュアル解説 成美堂出版 1900円+税 (著) 坂井 建雄、橋本 尚詞 ・講義プリントを随時配布する。 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・講義または実習日までに関連の知識、手順を予習しておくこと。 ・配布する講義資料には講義メモをし、しっかり復習すること。 ・課題テーマのレポートは形式または評価シートのポイントに従って記述していくこと。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| <p>高等教育無償化に伴う新たな制度ではSDGs(持続可能な開発目標)やGPA(grade point average)成績評価方法などの客観的指標が設定されています。</p> <p>講義内容を理解するためにも関連する新聞記事やニュースに気付いたら、ぜひ見て下さい。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 授業を通じての到達目標 | オリエンテーション 視能訓練士にとって「解剖生理学とは」が説明できるようになる。 | | 教科書 配布プリント | 今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 授業の概要;授業の目的・目標と評価方法について説明する。 人体の主な解剖学的構造の概要を学ぶ。 | | | | |
| 第2回 | 授業を通じての到達目標 | 運動器系 I (主な骨格系の解剖学的構造と役割が説明できるようになる。) | | 教科書 配布プリント | 今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 筋肉の分類と主なはたらきを学ぶ。 筋繊維の種類と構造及び収縮の仕組みを学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める | | | | |
| 第3回 | 授業を通じての到達目標 | 運動器系 II (主な筋肉系の解剖学的構造と役割が説明できるようになる。) | | 教科書 配布プリント | 今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 筋肉の分類と主なはたらきを学ぶ。 筋繊維の種類と構造及び収縮の仕組みを学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める | | | | |
| 第4回 | 授業を通じての到達目標 | 院内感染を予防できるようになる。 | | 教科書 配布プリント | 今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 実習の目的、手順、注意点について講義。 手指の汚れの影響を体験し、正しい手洗い、手指消毒を実習する。 滅菌、消毒の方法や違いを学ぶ。 実習の総括とE-講義を中心に復習する。 | | | | |
| 第5回 | 授業を通じての到達目標 | 脳・神経系 I 「中枢神経①」(脳の解剖学的構造と機能の概要が説明できるようになる。) | | 教科書 配布プリント | 今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 大脳、脳幹と小脳の外部構造を学ぶ。 失語、統合失調症、頭痛の機序を学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める | | | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|--|---------------|---|
| 第6回 | 授業を通じての到達目標 | 脳・神経系Ⅱ(脊髄の構造と脳神経の種類と脊髄との連携が説明できるようになる。) | 教科書 配布プリント | 今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成 |
| | 各コマにおける授業予定 | 木梢神経の区分と神経系の仕組みについて学ぶ。 自律神経(交感神経と副交感神経)作用について学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める。 | | |
| 第7回 | 授業を通じての到達目標 | 脳・神経系Ⅲ(末梢神経)末梢神経と自律神経について説明できるようになる。 | 教科書 配布プリント | 今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成 |
| | 各コマにおける授業予定 | 木梢神経の区分と神経系の仕組みについて学ぶ。 自律神経(交感神経と副交感神経)作用について学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める。 | | |
| 第8回 | 授業を通じての到達目標 | 脳・神経系Ⅳ(脳血管疾患の種類と起因について説明できるようになる。) | 教科書 配布プリント | 今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成 |
| | 各コマにおける授業予定 | 脳卒中の病型と特徴およびその原因について学ぶ。 脳梗塞、てんかん種類と機序について学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める。 | | |
| 第9回 | 授業を通じての到達目標 | 感覚器系Ⅰ(感覚の種類と皮膚感覚について説明できるようになる。) | 教科書 配布プリント | 今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成 |
| | 各コマにおける授業予定 | 感覚の概要と皮膚の構造、感覚(触覚点、痛点、冷点)と受容器について学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める。 | | |
| 第10回 | 授業を通じての到達目標 | 感覚器系Ⅱ(視覚器の構造とメカニズムが説明できるようになる。) | 教科書 配布プリント | 今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成 |
| | 各コマにおける授業予定 | 形、色、明暗を完結する視細胞のメカニズムについて学ぶ。 眼の主な疾患と機序について学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める。 | | |
| 第11回 | 授業を通じての到達目標 | 感覚器系Ⅲ(嗅覚、味覚器の構造と機能と脳への伝導メカニズムが説明できるようになる。) | 教科書 配布プリント | 今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成 |
| | 各コマにおける授業予定 | 舌、鼻の解剖学的構造、役割を学ぶ。 味覚の基本味と嗅覚の脳への伝導のメカニズムを学ぶ。 | | |
| 第12回 | 授業を通じての到達目標 | 感覚器系Ⅳ(聴覚器の構造とはたらきについて説明できるようになる。) | 教科書 配布プリント | 今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成 |
| | 各コマにおける授業予定 | 聴覚器の解剖学的構造と音の伝導、平衡感覚のメカニズムを学ぶ。 主な疾患(難聴、メニエル氏病)の機序について学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める。 | | |
| 第13回 | 授業を通じての到達目標 | 内分泌系Ⅰ(内分泌と外分泌の概要について説明できるようになる。) | 教科書 配布プリント | 今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成 |
| | 各コマにおける授業予定 | 内分泌腺と外分泌腺の違いを学ぶ。 ホルモンについて学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める。 | | |
| 第14回 | 授業を通じての到達目標 | 内分泌系Ⅱ(脳から分泌されるホルモンの部位と作用について説明できるようになる。) | 教科書 配布プリント | 今回の講義内容の知識を教科書等で予習しておくこと。分野ごとの課題テーマの自己研鑽とレポート作成 |
| | 各コマにおける授業予定 | 視床、視床下部、松果体の部位と構造及びホルモンの種類と作用を学ぶ。 講義関連の課題や討議事項を班でディベートする。 前講義の演習テスト、本講義の総括としてE-講義を中心に理解を深める。 | | |
| 第15回 | 授業を通じての到達目標 | 今期の講義と研鑽結果をわかりやすく発表できるようになる。 | 教科書 配布プリント | 事前に班で発表時間内であること。予想される質問事項、各自の役割、内容を協議しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 今期講義のスタイルについての成果、充実度について講師と学生とで確認する。 班ごとに研鑽課題をプレゼンテーションで発表する。質疑応答後、課題を評価する。 | | |